



今日は何会？ みんなの楽宴レポート



いまどき 飲み会!

「最近若者が飲み会に出ない」。そう耳にしたことがある方は多いはず。しかし、いざ夜の街へ出かけると意外と多く目にする若い人の姿。実際のところ、彼らの飲み事情はどうか、20代の方々にお話を伺った。ご協力いただいたのは、管内在住の泰範さん、真里奈さん、雅史さん、知美さん、大誠さんの5人。



泰範さん



真里奈さん



雅史さん



知美さん



大誠さん



意外と多い「飲み」の回数

「飲みに行くのは月に1、2回ほどですかね」と話すのは真里奈さんと雅史さん。飲みの機会は減っているのかと思っていたが、泰範さん、知美さんは「週に1、2回は外で飲みます。都合さえつければ毎日でも」。大誠さんも同じ状況だという。むしろ年配の方々より多いのではないだろうか。

お酒の席での飲み物を聞くと、真里奈さんはワイン、他の4人はビールとのこと。真里奈さんも乾杯の時にはビールがいいと話す。飲み会の始まりがビールというのはどの世代にも共通するようだ。ほとんどビールしか飲まないという知美さんにどのくらい飲むのか尋ねると、「ビールだけでジョッキ5杯はいきますね」と手でジョッキをかたどりながら答えた。それを見た今回のカメラマン赤堀さんが、「そのサイズだとピッチャー5杯くらいはいってるね」とツツコミを入れる場面も。やや緊張気味だった5人の顔がほころんだ。

乾杯はやっぱり
ビールで



おつまみの チョイスが オジサン？



お酒と一緒に食べるおつまみは、「フライドポテトは外せない!最後はデザートがあるとうれしい」と真里奈さん。一方、埼玉県出身の泰範さんは、「北海道に来て出会ったラーサラとたちぽんはやみつきになりました」と笑顔を見せた。知美さんは「ビールにぴったりの砂肝の串焼きと卵焼きが好きです」、雅史さんも「ピリ辛のたたきキュウリは最高ですね」。華やかなメニューが登場するかと予想した筆者だったが、みなさん渋いおつまみのチョイス。撮影用にスパークリングワインを用意したが、王道のビールが正解だったのではと反省した。

行きつけのお店が一番



お店選びについては、上司に教えてもらって行くことが多いという大誠さんに、真里奈さんは「行きつけのお店が入りやすいです。最近は、よにきに行くことが多く、いいお店ですよ」と、自社グループの宣伝も欠かさない。「屋台に行くことが多い」と話すのは知美さん。飲みに出る機会がたくさんあり、屋台の店員には顔なじみが多いとのこと。

取材協力

カフェ レストラン SAIKI



幕別町札内桜町83
営：11時30分～14時30分、
17時30分～22時(LO30分前)
土・日曜、祝日は通し営業 休：火曜
<https://cafesaiki.jp>
☎0155・28・5555



普段使いも、晴れの日も。いつでも気軽に、思いのままに料理を楽しむカフェレストランです。カジュアルに仕立てられた洋風ダイニングメニューをお楽しみください。普段使いのランチはリーズナブルに、ちょっと特別なディナーはぜいたくに。お友達と集まる時はわいわいと。そんなお客さまのシチュエーションに合わせたコースでご用意いたします。定番から最新まで時代のニーズに合わせたSAIKIのスイーツも自慢です。ご来店お待ちしております。

やっぱり飲みニケーション

泰範さんは「後輩を連れて大人数で飲みに行くこともよくある」と話す。他の4人は2、3人で出掛けている様子。社会人になってからは会社の人と楽しむことがほとんどのようだが、たまに友人と会うときも、お酒を通して語り合うことが多い。大勢で集まるより小人数で数を重ねる傾向にあり、若者の間でも飲みニケーションは健在だ。

取材協力

泰 範さん (29) 埼玉県出身、NKインターナショナル営業、趣味はドライブ
真里奈さん (26) 帯広市出身、NKインターナショナル人事部、よにき推し
雅 史さん (26) 帯広市出身、萩原建設工業総務部、好きな食べ物はハンバーグ
知 美さん (26) 幕別町出身、看護師、控えめな雰囲気をもった酒豪
大 誠さん (23) 帯広市出身、帯広シティーケーブル営業、大学で熱中したYOSAKOIは卒業した

